



紀伊・房総

◆24◆

黒潮は東シナ海を北上し、トカラ海峡から太平洋に入り、日本列島の南岸に沿って流れ、房総半島沖を東に流れ、日本海流

活に影響を与える。また黒潮（暖流）は寒流との潮境や沿岸水と外

とも呼ばれる。ブランクトンが少なく青黒い色をしているので黒潮と名付けられた。黒潮は海上の温暖化とともに陸上の動植物の生

とも呼ばれる。プラン  
クトンが少なく青黒い

洋水の境に豊かな漁場を育んでいる。  
6月4日、ヨットマソ堀江謙一さん(83)が米国サンフランシスコから紀伊水道まで、69日間の最高齢単独無寄港太平洋横断に成功した。風と潮流の恵みを味方にする海運の連続で、ゴール寸前の3日間は黒潮を横断する戰いだったという。  
今回、潮流のもつ自分が隆起して海岸段丘然の恵みとして紹介し、洋水の境に豊かな漁場を育んでいる。

数年前訪れた記憶をたどると、千畳敷の幾重にも重なった堆積地層に地球の息遣いを感じ、柔らかい砂岩は黒潮の風と波に削られ、今まで見たことのない表情をしていた。夕日の眺望も美しく和歌山百選に選ばれていた。歌山百選に選ばれていた。数百が離れたところにある三段壁は高さ約50m、長さ約2kmの海食崖。浸食された部分が隆起して海岸段丘工、アワビ、タコ、イクラなどと南下する寒流(親潮)との出会い頭で、サザエ、アワビ、タコ、イクラなどと南下する寒流(親潮)との出会い頭で、サザエ

## 美しく豊かな恩恵

たいのが、紀伊半島白浜温泉近くの田辺層群の白浜累層です。この地層は今から1800～1500万年前の新生代新三紀中新世ごろ海底に泥岩や砂岩、礫岩が堆積した地層で、隆起して現れた千畳敷や三段壁はこの堆積の上位に当たる白浜累層と言われている。この時代は日本が大陸から分離し始めた頃であ

になり、下部が再び漫食を受けて海食洞を形成。エレベーターで地下に降りて、海食崖の岩肌と黒潮の荒波を浴びて、黒潮のエネルギーを肌で感じたのを覚えている。

また、平安時代の源平合戦に参加した熊野水軍は、この海食洞を船の隠れ場所に利用した。洞窟は黒潮の作った自然資産であり、隠れ場所は人間の知恵をもたらすものである。

名前で呼ばれている。海洋の「輕井沢」というところであろうか。